

募 集 要 項

氏 名：石光 裕	研究室：第 3 研究室棟 11 研究室
専 攻 分 野：財務諸表分析	
演習テーマ：企業戦略と財務情報	E-mail：ishimits@cc.kyoto-su.ac.jp

演習内容・主なテキスト

この演習では、企業の経営戦略について主に財務数値を手掛かりに分析を行います。具体的には雑誌・新聞記事、財務諸表などから企業情報を収集・分析してもらい、プレゼンテーションというかたちでその成果をまとめてもらいます。

財務会計、企業戦略について学んでもらうのはもちろん、これら作業を通じて、データ分析や資料のまとめかた、グループワークなど、**大学卒業後に必要とされる技術の習得もこの演習の目的**です。これ以外に、会社見学など教室から離れた活動や合宿も行いたいと考えています。以下は現段階でこちらが考えている計画であり、ゼミ生の要望があれば随時変更していきます。

<演習 1>



・プレゼンテーションの練習

アイデアをどのように出し、まとめていくかについて、グループワークを通して練習していきます。多人数で協力して作業を行うのは、簡単にみえて結構難しいです。

・財務諸表の読み方（基礎）

企業の様子を知るには財務諸表を読むことが有用です。実際の企業のケースを通して、ときにはビジネスゲームによって財務諸表の読み方について学びます。

<演習 2>

・財務諸表の読み方（応用）

演習 1 に続いて、財務諸表の読み方を学んでいきます。実際の企業のケースを学ぶことが中心となります。

・プレゼンテーションの練習（実践編）

これまでに学んだプレゼンの方法および財務諸表を読む方法をもとに、出された課題に対してグループごとに発表を行ってもらいます。



<演習 3>

・財務諸表の読み方（実践編①）

この 1 年はこれまでに学んだ財務諸表の読み方をもとに、株式投資コンテストに挑戦します。まずは株式投資の基本と財務分析の役立ちについて学びます。またコンテストで評価の高かったレポートを分析し、内容および上手く説明する方法について考察します。

<演習 4>

・財務諸表の読み方（実践編②）

グループに分かれ、どのような企業に、どれだけの額を投資するのかを考えてもらいま

す。その理由づけが腕の見せどころ。これまでの学びが試されます。



<演習5・6>

各自（各グループ）の**興味のあるテーマを選択**してもらい、卒業論文の執筆を行ってもらいます。自分で問いを探し、それに対して情報を集め、分析できるようになっているか確認しましょう。

教員からの要望

演習はグループ単位で行うことが多いので、①遅刻をせず毎時間出席すること、②ゼミ活動に積極的に参加するようにしてください。

履修希望科目

簿記Ⅰ、簿記Ⅱを履修するなどして基本的な簿記の仕組みを理解できるようにしておいてください。今はまだ簿記もよく分からないけれど、これからゼミに入って勉強したいという学生も歓迎します。

教員の自己紹介

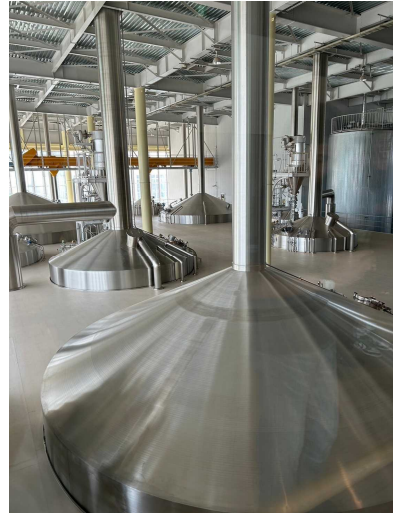
いろいろな場所に行き、実際に歩く（見る、話す、食べる？）ことを楽しみにしています。歩きならでのゆっくりとしたペースからは様々な気づきがあって、車や鉄道、飛行機による移動（これももちろん面白い）とはまた違った良さがあります。

ゼミ生からの紹介

- ・グループワークが多いので班の人と仲良くなれる。合宿は楽しい！
- ・普段のゼミでは財務諸表を分析しています。まだ簿記の学習が進んでいない人でも、少しずつ財務諸表が理解できるようになります。
- ・活動内容としてはパソコンやスマートフォンを使い、ワードやスライドに調べたことをまとめ、発表するといったことをします。こう聞くと難しいことをしていると考えってしまうかもしれませんが、先生が順序だててご説明していただきます。
- ・落ち着いた雰囲気 of ゼミです。夏には工場見学に行き、セミナーハウスに泊まりました。

【2024 年 9 月には彦根にある麒麟ビール工場見学に行きました。】

- ・麒麟の歴史や、ビールの製造工程を詳細に知ることができた。
- ・実際に出来立てのビールをプロに注いでもらい、試飲した。
- ・見学した生産設備から、麒麟の持っている固定資産などを読み取る良い機会となった。



- ・彦根に立ち寄り、琵琶湖に近い場所にある大学施設「松の浦セミナーハウス」に宿泊しました。BBQ もでき、運動場もあります。通常の授業では、ゼミ生どうしゆっくり話す時間もなかなかないので良かったです。

